

# いわき石川線 大規模地すべり災害復旧工事 最新情報

## 1. はじめに

平成23年4月11日に発生した最大震度6弱(M7)の直下型地震により、県道いわき石川線の渡辺町上釜戸地内と田人町石住(才鉢)地内で大規模な地すべり災害が発生しました。現在、両工区で災害復旧工事を実施しておりますが、どちらも応急的に施工した仮道工であるため、道路利用者の皆様には大変なご不便をおかけしております。

今までどのようなことをしてきたのかな？

工事はいつまでかかるのだろうか？

今はどんな工事を行っているのかな？

といった皆様の疑問にお答えするため、いわき建設事務所では今後定期的に工事の最新情報を提供させていただきます。

## 2. どんな災害だったのですか？

### ■上釜戸地内

上釜戸地内は延長約300m高さ約60mの範囲で50万m<sup>3</sup>程度の土砂が尾根から道路に向かってすべり落ちたという全国的にも類を見ない大規模な地すべり災害でした。



上釜戸地内 被災状況 (H23年4月13日撮影)

## ■才鉢地内

才鉢地内の付近には井戸沢断層があり、延長約200m高さ約50mの範囲で10万m<sup>3</sup>程度の土砂が道路上に崩壊しました。



才鉢地内 被災状況 (H23年4月13日撮影)

### 3. 今までどのようなことを行ってきたのですか？

#### ①上釜戸工区の仮道工 (H23.8.30 通行止解除)

最初に土砂と一緒に崩落した倒木を除去し、その後に仮道工 (延長460m) の工事に着手しましたが、山全体が不安定な状態にあったため、余震や降雨のたびに少しずつ山が動いていました。道路上に崩落した土を除去してしまうと山が大規模に動いてしまうおそれがあるため、やむを得ず崩落した土を利用して仮道工を造りました。その結果、高低差のある道路となっていますので、通行の際は安全運転をお願いします。



倒木処理・工事用道路完了 (5月)

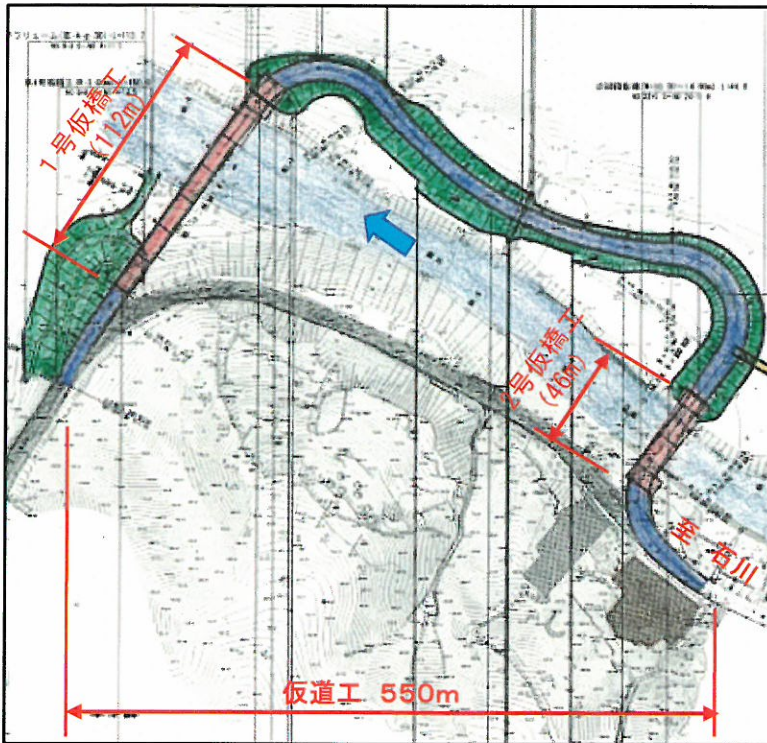


仮道工完了・通行止解除 (8月)

## ②才鉢工区の仮道工（H23.9.20 通行止解除）

才鉢工区は鮫川に隣接しているため上釜戸工区のように現道上に仮道工を造ることができません。そのため、いくつかのルートと比較検討したうえで二つの仮橋工で対岸に迂回するルートを選定し仮道工を造りました。山に囲まれた制約の中で仮道工を造ったことから、仮橋工の前後では急カーブとなっていますので、安全運転にご協力願います。

◆仮道工：550m ◆1号仮橋工：112m ◆2号仮橋工：46m



施工前（5月）



仮道工完了・通行止解除（9月）

## ③災害査定

災害が発生し復旧工事を行うためには「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」に基づく各種の事務手続きが必要になります。中でも一番重要なのが災害査定ですが、上釜戸工区・才鉢工区ともに被害の規模が甚大であったため現地で災害査定（第13次査定）が行われました。



上釜戸工区：査定状況



才鉢工区：査定状況

#### 4. 工事はいつから始まったのですか？

平成24年4月25日、上釜戸工区の現場内で県・いわき市・古殿町・施工を担当する特定建設共同企業体の代表者が出席して「本復旧工事合同安全祈願祭・起工式」が行われました。安全祈願の神事後、渡辺福島県土木部長の起工宣言で掘削開始ボタンが押下され、掘削工事が本格的にスタートしました。



工事安全祈願祭



起工宣言（渡辺部長）



掘削開始ボタン押下



掘削工事開始

#### 5. 現在どのような工事を行っているのですか？

上釜戸工区は約20万m<sup>3</sup>の土砂を小名浜港の東港埋め立てに利活用するため、工事現場から1日当たり45台のダンプトラックで掘削土砂を運搬しています。各ダンプトラックには上釜戸工区専用の表示板を掲げています。



ダンプトラックの表示板



バックホウ掘削→ダンプトラックへ積込→運搬

#### 【事務担当】

福島県いわき建設事務所 復旧・復興課（道路橋梁復旧担当） 電話：0246(35)6075